

ビーチバレー千葉市長杯競技規程

2020. 8. 23

(一社) 日本ビーチバレーボール連盟
ビーチバレー千葉市長杯実行委員会

1 エントリー

(1) エントリー

全ての大会に参加を希望する全てのチームは必ず所定のエントリー手続きを済ませなければならない。

1) エントリー資格

- ◆参加を希望する日本人選手は一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟(以下、「日本ビーチバレーボール連盟」という。)選手登録を行っていないと認められず、設定された締切り日までにエントリーをしなければならない。ここで言う登録とは登録費の支払い手続きを完了したものである。
- ◆参加するには日本ビーチバレーボール連盟選手登録のA登録又はS登録を行っていないと認められない。エントリーの時点では未登録も認めるが、大会参加が決定した場合、大会5日前までに登録を完了していないと認められない。大会開催日の時点で未登録の選手は大会の参加を認めない。
- ◆外国人選手は日本ビーチバレーボール連盟選手登録を行うか、その資格を有さない場合は所属する国のバレーボール協会からの参加申請に基づき、参加を認めることがある。
- ◆日本ビーチバレーボール連盟選手登録を行っていない外国人選手が一人以上含まれるチームは規定範囲での参加を認める。

2) エントリー期限

大会ごとのエントリー期限は原則17日前を目途に設定し、期限日の23時59分までを期限とする。

3) レイトエントリー

エントリー期限を過ぎてからのエントリーは原則受け付けない。ただし、募集定数に達しない場合のみ、追加エントリーを受け付けする場合もある。

4) 監督、コーチ、トレーナー申請

ビーチバレー千葉市長杯では、参加チームの監督、コーチ、トレーナーをチームスタッフとしてAD申請のうえ会場内に入ることを認める。チームスタッフの申請は、大会当日の選手受付で行う。

なお、各チーム2名以内とする。

5) 参加料

ビーチバレー千葉市長杯の大会参加費は大会概要に記載する。

6) 新型コロナウイルス感染症等の影響により、中止又は延期となった場合の対応

- ◆中止の場合
いかなる時点においても、当該大会への参加の権利は消滅する。
- ◆延期の場合
エントリー期間を再設定し、再度募集する。

(2) 参加チームの決定

ビーチバレー千葉市長杯の参加チームは以下の通り決定する。

1) 大会参加チームの決定

◆ビーチバレー千葉市長杯の参加チームはエントリー期限時点でのJVAビーチバレーボール・オフィシャルポイント（以下、「JVAポイント」）にて参加チームを決定する。

なお、エントリー期限において、JVAポイントの凍結が解除されていない場合は、2020年3月16日時点のJVAポイントにて決定する。

◆JVAポイントが同じ場合は、最も高いポイントを持つ選手がいるチームを上位とする。それも同じ場合は大会実行委員会による厳正な抽選により決定する。

◆レイトエントリーチーム(募集した場合に限る。)

レイトエントリーチームはその大会が参加定員に満たない場合のみ参加することができる。

2) 補欠チーム

ビーチバレー千葉市長杯へのエントリーチームが大会参加定員よりも多い場合、エントリー期限日時点でのJVAポイントで参加定員以降のチームとレイトエントリーチームは補欠チームとなる。それら補欠チームは以下のように取り扱う。

◆正規(エントリー期限内)にエントリーした補欠チーム

他チームのキャンセルによる繰り上げはエントリー期限時点のJVAポイントによって行われる。

◆レイトエントリーチーム(募集した場合に限る)

他チームのキャンセルによる繰り上げは正規にエントリーしたチームを優先する。レイトエントリーチーム同士は申込み順で繰り上げを行うものとする。

(3) ワイルドカード

ビーチバレー千葉市長杯には大会主催者が定めるワイルドカードチームが参加することがある。ワイルドカードによる参加チーム数の上限は2チームとする。

1) ワイルドカードの対象

ワイルドカードは正しくエントリーを行ったチームを対象とし、所定のシードが与えられる。

◆ワイルドカードは、JBVワイルドカード、開催地ワイルドカードから選ばれる。

◆ワイルドカードは申請権を持つ組織が大会実行委員会に対し申請を行う。

◆ワイルドカード申請は、締切日までに行わなければならない。

2) ワイルドカードの推薦権

ワイルドカードの推薦は、以下の推薦団体が大会実行委員会に推薦を行う。選手本人からの推薦書提出は対象外とする。

◆一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟

◆開催地都道府県ビーチバレーボール連盟

◆その他、大会実行委員会が認めた団体及びチーム

3) ワイルドカードの決定権

ワイルドカードは大会実行委員会が決定する。

4) 外国人チームの取扱

正規のルートにより推薦された外国人チームは、強化の目的からワイルドカードに含めないことができる。

出場の決定は、大会実行委員会で行う。

(4) キャンセル

各大会にエントリーを済ませたチームがそれを取りやめる場合は必ずキャンセルの手続きを行わなければならない。

1) 参加チームのキャンセル

参加チームがキャンセルする場合は大会実行委員会に連絡し確認を受けた時点でキャンセルが認められる。

2) 大会5日前以降のキャンセル

大会5日前以降に参加チームがキャンセルする場合は以下の手続きを行わなければならない。

◆怪我等の場合は診断書等、その他の理由の場合は文書にて申請し、大会実行委員会の承認を得なければならない。

◆ビーチバレー千葉市長杯における診断書等の提出を必要とするキャンセルについて、診断書等の提出がないチームは、罰則として今後の日本ビーチバレーボール連盟主催大会への参加を認めない場合がある。

◆ビーチバレー千葉市長杯において受付時間までに来なかったチーム、すなわち主催者に無断でキャンセルを行ったチームは、別に定める罰則が適用される。

◆診断書等の提出を必要とするキャンセルにおいて、診断書等がない場合でも大会実行委員会がやむを得ないと認めた場合に限り、罰則が適用されないことがある。

◆FIVB、AVC主催大会又はビーチバレー千葉市長杯実行委員会が認める大会への参加又は参加するための移動等によるキャンセルは罰則の適用外とする。

(5) 選手変更

エントリー期限後でも大会実行委員会が認めれば、ルールに定められた範囲に限りチームでどちらか一方の選手を変更することが出来る。

◆変更によってチームに加入する選手はすでにビーチバレー千葉市長杯参加に必要な日本ビーチバレーボール連盟選手登録を済ませていなければならない。

◆JVAポイントは変更後の選手のものを採用する。選手変更によるJVAポイントの増減に伴いエントリーリストを変更する。すなわち参加確定チームが補欠チームに繰り下がることもある。

◆選手変更時点でエントリーリストが発表され、すでに参加チームが決定している場合、JVAポイントが上がることによって補欠チームが参加確定チームに繰り上がることはない。

◆補欠チームが選手変更によりJVAポイントが増えた場合、補欠チーム内での順位が変更されるが、参加確定チームに繰り上がることはない。(補欠チームが繰り上がるには、参加確定チームのキャンセルもしくは選手変更が行われた場合に限る)。

1) 選手変更期限

大会5日前以降の選手変更は認めない。ただし、大会実行委員会がやむを得ないと判断した場合にはこの限りでは無い。

2) ワイルドカードの選手変更

ワイルドカードは大会実行委員会が認めた場合に限り、ワイルドカードのままどちらか一方の選手を変更することが出来る。

2 シーディング

(1) シーディング

シーディングは大会12日前のJVAポイントに基づき、プレミナリイックワイアリの時点で確定する。JVAポイントが同じ場合は最も高いポイントを持つ選手がいるチームを上位とする。それも同じ場合は大会実行委員会による厳正な抽選によりシーディングを決定する。

なお、大会12日前において、JVAポイントの凍結が解除されていない場合は、2020年3月16日時点のJVAポイントにて決定する。

1) ワイルドカード

ワイルドカードには大会ごとに定められた規定のシードが与えられる。

ワイルドカードのシーディングは、上記シードと自らのJVAポイントにより与えられるシードのうち、より上位となるシードを適用する。

2) 選手の変更

選手を変更したチームのJVAポイントは変更後の選手のものを採用する。

(2) プレミナリイックワイアリ、テクニカルミーティング

プレミナリイックワイアリ、テクニカルミーティングは、原則大会当日に大会実行委員会の定める時間、場所で大会主催者代表の出席のもと開催される。プレミナリイックワイアリの時間、場所については、大会ごとに事前に参加選手に通知される。

大会エントリーチームはプレミナリイックワイアリとテクニカルミーティングに参加した時点で大会参加チームと認める。プレミナリイックワイアリ、テクニカルミーティングには原則選手2人が参加しなければならない。やむを得ない理由によりプレミナリイックワイアリ、テクニカルミーティングに参加できないチームはプレミナリイックワイアリ終了時間までに大会本部に連絡しなければならない。

プレミナリイックワイアリ終了時点でプレミナリイックワイアリの会場にいないチーム、連絡のないチームは無断でのキャンセルとみなし、当該大会への参加を認めない。また、罰則として以後の日本ビーチバレーボール連盟主催大会への参加を認めない場合がある。なお、プレミナリイックワイアリ、テクニカルミーティングを実施しない場合は事前に通知する。

(3) 競技形式

1) 参加チーム数

ビーチバレー千葉市長杯は男女各12チームが参加して以下のように行われる。

2) 予選

◆予選は12チームが参加して以下のように行われる。

◆12チームより3チーム×4プールのプール戦方式(参加チーム数により、4チームプール戦の場合あり)

各試合で勝利したチームには勝点2を与える。そして各試合に負けたチームには勝点1を与え、勝点の多いチームを上位とする。ただし、棄権により行われなかった試合では、勝利したチームには勝点2を与えるが、棄権したチームは勝点0とする。ただし、全ての続けられない、もしくは開始されない試合は、大会役員(競技責任者)によって「①失格(DSQ)」もしくは「②負傷による失格(INJ/DSQ)」と評価され、②の場合は棄権したチームも勝点1を得るとともに、棄権するまでの得点を保持することができる。

例えば、負傷して棄権した時が11-18だとすれば、このチームは勝点1、ポイントは11-18となる。この例で勝利したチームは勝点2を得るとともにポイントは18-11とし、「負傷による失格(INJ/DSQ)」と加筆される。

試合が開始される前に「負傷による失格(INJ/DSQ)」が発生した場合、棄権したチームは勝点1、ポイントは0-21となり、勝利したチームは勝点2、ポイントは0-0となる。

もし有効な理由が無く試合を棄権した場合は没収試合とし、勝点0、ポイントは0-21で「失格(DSQ)」と記入する。この試合に勝利したチームは勝点2でポイントは0-0となる。

●プール戦の途中で勝点が並んでいるチームは以下のとおり順位を決定する。

ー2チームが勝点で並ぶ場合

- ・もし両チームが対戦している場合、対戦に勝利しているチームを上位とする。
- ・もし両チームが対戦していない場合、全ての対戦における得点率の高いチームを上位とする。
- ・得点率も並ぶ場合は同じ順位とする。

ー3チームが勝点で並ぶ場合

- ・該当する3チーム同士の対戦での得点率の高いチームを上位とする。
- ・得点率も並ぶ場合は同じ順位とする。

ー4チームが勝点で並ぶ場合

- ・全ての対戦における得点率の高いチームを上位とする。
- ・得点率も並ぶ場合は同じ順位とする。

●プール戦の全試合が終了した時は以下のとおり順位を決定する。

ー2チームが勝点で並ぶ場合

- ・両チームの対戦で勝利しているチームを上位とする。

ー3チームが勝点で並ぶ場合

- ・該当する3チーム同士の対戦での得点率の高いチームを上位とする。
- ・3チーム同士の得点率が並ぶ場合は、全ての対戦における得点率で順位を決定する。
- ・全ての対戦でも得点率が並ぶ場合は、シーディングで上位のチームを上位とする。

3) 本戦

◆決勝トーナメント(準々決勝～決勝)

決勝トーナメントは各プール上位2チーム(8チーム)によるシングルエリミネーショントーナメントを行う。

●シード1～8の決定方法

プールAの1位をシード1、プールBの1位をシード2、プールCの1位をシード3、プールDの1位をシード4とする。

各プール2位のシードは抽選により決定する。

(抽選方法)※全て抽選棒を使用する。

①予備抽選により引く順番を決める。

②同じプールのチーム同士の対戦とならないように、シード8→シード7→シード6→シード5の順に抽選を行う。

③シード8を決定する場合、予選PoolAのチーム除き予備抽選で決定した順番で抽選棒を引き、「8」と記載された抽選棒を引いたチームをシード8とする。

4) 荒天等による競技方式の変更及び開催中止について

◆荒天等により、時間の縮小が必要な場合は、次の通り対応する。

(基本) 予選21点1セットマッチ(23点打ち切り)

本戦21点1セットマッチ(打ち切りなし)

決勝戦3セットマッチ(3セット目15点/打ち切りなし)

・21点1セットマッチ(全試合21点打ち切り)※決勝戦を除く

・予選を15点1セットマッチ(15点打ち切り)、本戦を21点1セットマッチ(21点打ち切り)※決勝戦を除く

なお、雷雨等で途中中断の場合は、本戦を15点1セットマッチ(打ち切り)で行う場合がある。

・全試合15点1セットマッチ(15点打ち切り)※決勝戦は開始時間により1セットマッチで行う場合あり

・全試合シングルトーナメントとする。(開始時間により点数・打ち切りは決定する)

◆実施予定の試合が終了出来ない場合は、中止の判断をした時点での順位とする。

その際のポイント・賞金の考え方は下記のとおりとする。

※準々決勝(ベスト4)で終了した場合(準決勝・決勝の開催が出来なかった場合)

ポイント【1位 300pt、2位 200pt、3位 150pt×2 チーム】合計 800pt 1チーム 200pt

賞金【1位 8万円、2位 1万円】合計 10万円 1チーム 2.5万円

Beach Volleyball Chiba

Pool Seeding

Pool A	Pool B	Pool C	Pool D
Seed1	Seed2	Seed3	Seed4
Seed8	Seed7	Seed6	Seed5(W)
Seed9	Seed10	Seed11	Seed12

※Seed9～12は抽選

Pool A

	Seed1	Seed8	Seed9
Seed1		#9	#5
Seed8	#9		#1
Seed9	#5	#1	

Pool B

	Seed2	Seed7	Seed10
Seed2		#10	#6
Seed7	#10		#2
Seed10	#6	#2	

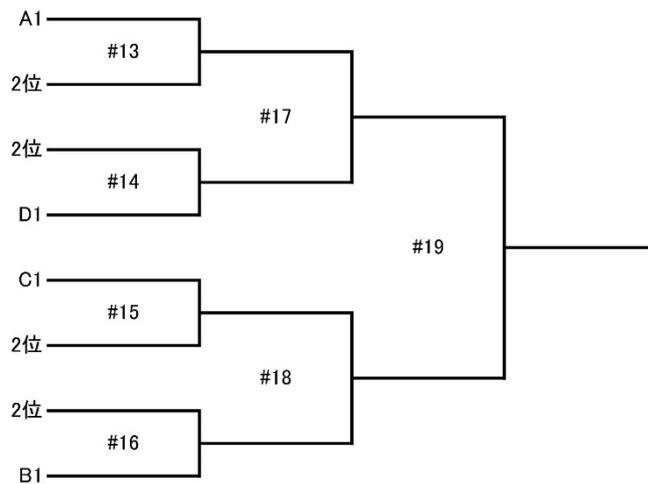
Pool C

	Seed3	Seed6	Seed11
Seed3		#11	#7
Seed6	#11		#3
Seed11	#7	#3	

Pool D

	Seed4	Seed5	Seed12
Seed4		#12	#8
Seed5	#12		#4
Seed12	#8	#4	

Main Draw Tournament



※2位チームのシードは抽選により決定する。

3 その他重要事項

(1) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策

参加者選手は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を遵守しなければならない。
また、事前に日本ビーチバレーボール連盟が定める大会開催時の留意点を確認すること。

(2) 競技全般

1) 男女共催

ビーチバレー千葉市長杯は男女共催で行われる。

2) 試合形式

ビーチバレー千葉市長杯は全ての試合が1セットマッチで行い、決勝戦のみ3セットマッチで行われる。ただし天候状況等によりキャップが設けられることがある。

3) 形式の変更

事前もしくは当日に関わらず、やむを得ない事情が発生した場合に限り、大会実行委員会はトーナメント方式及び試合形式を変更することがある。

(3) ユニフォーム

ビーチバレー千葉市長杯は日本ビーチバレーボール連盟のユニフォーム規定対象外とする。大会参加チームはビーチバレーボール競技に適したユニフォームを自分たちで用意しなければならない。ユニフォームのルールに関して詳細な判断は競技責任者の判断によって行われる。

(4) コーチング

ビーチバレー千葉市長杯では、監督が試合中にコーチングを行うことは出来ない。

(5) 大会の棄権

競技開始後の怪我等による棄権は、確定した順位に基づき賞金、ポイントを与える。

競技開始前の棄権の手続きは、1エントリー(4)キャンセルに規定する内容により処理する。

(6) ポイント

本大会に参加したチームには別途定められたJVAポイントが与えられる。

(7) 賞金

本大会に参加した選手には定められた賞金が支払われる。

(8) 公式行事への参加について

大会に参加する全ての選手はプレリナリインクワイアリ、テクニカルミーティング、表彰式など、主催者が指定する大会運営上必要な公式行事には必ず参加しなければならない。

参加しなかった選手については以下の罰則を適用する。

1) プレミナリインクワイアリ、テクニカルミーティング

- ・同大会のエントリーを抹消し同大会への参加を認めないものとする。

2) 表彰式

- ・同大会で獲得したポイント、賞金を剥奪する。
- ・大会実行委員会に対し始末書を提出する。

3) 併催イベント、交流試合、スクール等

- ・大会実行委員会に対し理由書を提出する。

罰則については大会実行委員会がやむを得ない事情を認める場合はこの限りではない。

ただし、選手はやむを得ない事情が生じたと考えられる場合についても、それぞれ公式行事の開始前に大会実行委員会に事態を連絡しなければならない。

(9) コンプライアンス規定の遵守

大会関係者(選手を含む)は、スポーツパーソン、スポーツ関係者として品位と名誉を重んじつつ、フェアプレーの精神に基づいて他の範となるよう行動し、ビーチバレーボールの健全な普及・発展 に努めなければならない。

法令等違反行為に該当するもしくは、該当する恐れがあるものについては、日本バレーボール協会コンプライアンス規定に基づき対処する。

また、競技規則に定めるペナルティの対象となる行為に対しては、実行委員会で協議のうえ下記の罰則を適用する。

- ◆同大会で獲得したポイント、賞金を剥奪する。
- ◆日本ビーチバレーボール連盟主催大会への出場を認めない。期間、大会数は実行委員会で協議し決定する。

(10) メディカルインジュリータイムアウトに関する今後の対応

ビーチバレー千葉市長杯では、予選1人1回、本戦1人1回、決勝戦1人1回とする。

なお、医療スタッフを必要とする、出血を伴う負傷による MTO などの対応は、競技規則により対応する。

(11) その他

本規定は令和2年8月23日から実施する。

本規定の変更は日本ビーチバレーボール連盟及び大会実行委員会の協議によって行うことができる。

また、本規定に明示されていない不測事項はすべて日本ビーチバレーボール連盟ならびに大会実行委員会で決定する。

附則

令和2年8月23日施行